

**【バフェットが「消費者独占型企业」を見極める
3つの方法とは？】**

⇒編集後記で

~~~~~

どうもゆうです！

さてさて、ここ最近世界一の投資家ローレンバフェットに

学んでいこう、ってことで色々

記事書いてるわけですが、

なかなか、というかかなり好評ですね～

世の中なんだかんだ知ってるか知っていないかの

ところが大きいですよ。

株なんかも メルマガで最近書いてるような内容

知ってれば最強に負けづらくなるし、（最終的には儲かる）

知らないで短期のデイトレなんかでどんどん資金が失われるわけで

（これは大多数の姿）

やっぱり私なんかは学んでいくってのは

人生においてすごい大事にしていますね～

それで今日はやっぱりこの前まで

「バフェットが避けるコモディティ型企業」

と

「バフェットが買ったがる消費者独占型企業」

について結構書いたのですが、

実は株の買い付けとなると前号までの内容だけで  
十分なんだけど（前号の内容だけで相当銘柄絞られる）

ただ一応さらにフィルターする方法があって  
バフェットなんかはそれをずっとやっていた人です。

実は結構、バフェットが銘柄買う歳は

厳しい条件があるんだけど

今日はその辺をさらに学んで生きましょう！

編集後記で！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF

【(FXで)「損きりにやたら引っかかるんです・・・」  
という悩みについて考える!】

[http://fxgod.net/pdf/sonkiri\\_hikkakaru.pdf](http://fxgod.net/pdf/sonkiri_hikkakaru.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【資産10兆バフェットは大衆投資家が暴落で焦ってるところで買う】  
(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory1.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory1.pdf)

PDFレポート

【億万長者のバフェットが避けたがる  
「コモディティ型企業」について知る!】  
(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory2.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory2.pdf)

PDFレポート【投資したら損する「コモディティ企業」を  
バフェットが見分ける「7つの基準」とは?】  
(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory3.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory3.pdf)

PDF【バフェットが愛する「消費者独占型の企業」とは何か?】  
(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory4.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory4.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【副島隆彦先生の最近の日本政治言論を見る!】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/soejima\\_201907.pdf](http://fxgod.net/pdf/soejima_201907.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【マスコミが報じない「吉本興業に天下りをした警察OB30人」  
について考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/yoshimoto\\_keisatuob.pdf](http://fxgod.net/pdf/yoshimoto_keisatuob.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

(写真37枚あり) 【マレーシア最大級のメガモール  
ミッドバレーに行ってきた】

[http://fxgod.net/pdf/malay\\_megamall.pdf](http://fxgod.net/pdf/malay_megamall.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート【なぜ最近マスコミは「軍用地投資」をおおるのか？】

[http://fxgod.net/pdf/gunyouchi\\_toushi.pdf](http://fxgod.net/pdf/gunyouchi_toushi.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【「行動力を上げる裏技」とは？】

<http://fxgod.net/pdf/koudouryoku.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【「20代の4割は童貞」という

驚愕の統計データについて考える！】

[http://fxgod.net/pdf/20dai4wari\\_doutei.pdf](http://fxgod.net/pdf/20dai4wari_doutei.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【EUのドイツとフランスは  
米ドル決済を使わないINSTEX（インステックス）活用を  
進めていく】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/instex\\_eu.pdf](http://fxgod.net/pdf/instex_eu.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【なぜマスコミは芸能人の  
入江さん、宮迫さん間営業問題を  
「プロパガンダ」しているのか？（警察天下り利権）】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/irie\\_miyasako.pdf](http://fxgod.net/pdf/irie_miyasako.pdf)



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【NYダウが27000ドル超えの中、  
ドル円が107円台の相関現象 について2月のメルマガから考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/ny27000\\_dollar107.pdf](http://fxgod.net/pdf/ny27000_dollar107.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート（コラム）

「私たち人類は実は何も知らない！？」

[http://fxgod.net/pdf/muchi\\_no\\_chi.pdf](http://fxgod.net/pdf/muchi_no_chi.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

メルマガバックナンバーより

【副島隆彦先生と田中研究員の「NHKをぶっ壊す」についての  
最新言論を見る！】

<http://www.fxgod.net/a/groups/8042063/soejima20190718/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【「生産性」をあげると誰でも楽しんで稼げる、という話】

<http://fxgod.net/pdf/seisansei.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX・Nさんとの「対談音声」が実現しました！】

※人気なため募集は一瞬で終了しましたが、

対談音声は勉強になるかと。

■ 1本目の対談音声

「FX・Nが負け組から一気にスーパートレーダーに這い上がった  
実経験を暴露します！」

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/3448641/fxn1/>

■ 2本目の対談音声

「お金はどうせ増える」（サイクル理論の話）

⇒ <http://www.fxgod.net/onsei/fxn2.mp3>

（スマホでもお聞きいただけます♪）

【FX N×ゆう 対談音声3本目！】

「サイクル理論ではシナリオで考える！？」

勝てる人と負ける人の違いとは？」

⇒ <http://www.fxgod.net/onsei/fxn3.mp3>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

＝＝＝＝＝＝＝＝＝編集後記＝＝＝＝＝＝＝＝＝

さてさて、

ここ最近ですが

「億万長者バフェット学」つてのをやっています。

一応うれしいことに最近は読者さんで

稼げるようになってきたみたいなのは

全員ではなくても徐々に増えてきていてメールも

ちよくちよくいただくのですが

その中で「株の長期保有について」結構質問いただくのも

ありまして、

ちょっとメール返事だけでは内容全部伝えられないってのも

ありまして

せっかくなので

「億万長者バフェット学」

にしています。

こういう知識ってほんと学校じゃ教えてくれませんかからね、

やはり自分でこうやって文章読んで、考えて学んでいく～

ってのが大事だと、私は思っています。

それで、前回までで

「コモディティ企業」と「消費者独占型企业」

について結構書きましたよね。

簡単に言うとバフェットは

「コモディティ企業を避けて」

(この時点で相当銘柄数減る。)

それでさらに「消費者独占型企业」を絞っていく

っていうやり方です、

その後、その消費者独占型企业を暴落時に買ったり、

もしくは既に安い水準ならば、そこで買うっていう

結構シンプルな投資方法なんです。

これが世間でよく言われる「バリュー投資」です。

が、実は私なんかはこの「バリュー投資」関係の

ネット記事も見てるんだけど

おそらく、「なんとなく」分かってる人が大半でして

しかしそれは「しっかり 定義づけて」分からないと

使いこなせないと自分の経験で思うから、書いてるってことです。

それで今までの内容は以下ですね。

1時間もあれば読めるかと。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<上から順番に>

PDF【資産10兆バフェットは大衆投資家が暴落で焦ってるところで買う】

(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory1.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory1.pdf)

## PDFレポート

【億万長者のバフェットが避けたがる  
「コモディティ型企業」について知る！】  
(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory2.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory2.pdf)

PDFレポート【投資したら損する「コモディティ企業」を  
バフェットが見分ける「7つの基準」とは？】  
(億万長者バフェット学)

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory3.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory3.pdf)

## バックナンバー

【バフェットが愛する消費者独占企業とは何か？】 (億万長者バフェット  
学)

<http://www.fxgod.net/a/groups/8042063/buffet4/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



さて、それで実は上の4つの考え方やフィルターで・・・

自分で銘柄買えば分かるけど

あとはほったらかしにしておけば

どんどん含み益って伸びる可能性は高いわけですよ。

ただもっと精度を高めて、素晴らしい企業を絞ることが

できまして、

今日はそのための記事です。

それで基本的には

「大多数を占めるコモディティ企業を見破って

そして避けて」

「そして消費者独占型企业買う」

って感じなんですけど

ここで、「消費者独占型企业」をですね、

さらに見極める方法、なんかを今日は書きます。

ちなみに、私のメルマガで「世界経済のマクロ分析」

ってすごいたくさん 諜報機関とかインテリジェンスの話でも

書いてるけど、

あれは実はイギリスのファンドなんかがよくやってる

分析なんですね。

今号ではあまり書きませんが、バフェットの時代と

私やあなたの生きる時代の違いってのが

あって、

バフェットが投資し始めた頃ってのは

アメリカが世界恐慌後で「あんな国に投資するやつは

頭おかしい」って言われていた時期なんです。

が、今はアメリカってのはすごい地位にいるわけですね。

が、今からバリュー投資するのであればやはり

これから資本主義が花開くところでやるべきでして、

最近学んでる株の買い付け方の基準ってのは

まさにこれから伸びるアジアの国々、あとはアフリカ、

中東なんかの株投資でもろに使えるでしょう。

それで「投資する国を選ぶ際」には当然ですが

「子供の多い地域」にしましょう。

ネットで「人口ピラミッド」って検索しますと

大体出てくるけど

日本の場合は人口ピラミッドが結構やばいのだけど

最近のアジアの国々は人口ピラミッドがすごいよくて

子供が多い地域がかなりあります。

投資にタブーはないので、書きますが

一夫多妻制度が存続してる国なんかは出生率がやはり

高くて、

子供や赤ちゃんが多い。

なので私のいるマレーシアもそうだし、インドネシアもそう。

この辺でこれから本格的に資本主義が導入されていくので

(既に導入されて成功してきた)

私たちの時代にはこれらの新しい成長する国に

投資することでおそらく20年~40年で

「莫大な」利益を生めると私は見えます。

だから 国の選定、もこれからの時代は大事ですね。

バフェットの時代は バフェットはアメリカ人だから

アメリカしか投資できなかった。

けど今の私たちはネットがあるから世界に投資できる、

この辺の優位性はありますから、

バッフェットの基礎を学んで応用していくことが重要。

さてそれで、どんな国でも結局

素晴らしいパフォーマンスをあげるのは

前号までで学んでいただきました

**「消費者独占型企业」**ですが、

その消費者独占型企业をチェックする際に

いくつかチェックする項目があるんで、

今日はそれを書きます。

結構沢山あるので今日は3つくらい書きたいけど

この辺がおそらくあなたの長期投資の羅針盤となります。

それでまず以前とかぶりますが

**< 1 > 消費者独占力を持つサービスがあるかどうか**

ですね。

それで、これは以前にも結構書いたけど

良い方法があって、

それが その投資先の国に行きまして、

それで コンビニとかスーパーとかドラッグストアとか

バーとかガソリンスタンドとか、

書店なんかで

「その国の生活をする」んです。

んでそれらのサービス、製品を扱ってるお店で

「このお店で絶対ないといけない製品はなんだろう」

と考えるのですね。

例えばなんだけどマレーシアの店を例にとると

必ず、暑い国だから

「飲み物、ドリンク」が置いてあります。



それで「絶対にないといけないドリンク」ってのが

マレーにはありまして、

それが「超甘い 冷たい紅茶」ですね。

アイスティーです。

このアイスティーのペットボトルはどの店にも

「絶対に」ある。

んでマレーシアの場合は酒は飲まないからその代わり

嗜好品として 砂糖が好まれてるけど

だからみな甘党です。

そこで「超甘い、そして冷たいアイスティー」ってのは

必ず売ってるものなんだけど

それを提供してるメーカーは・・・

というと 実は コカコーラなんですよ。

コーラも売ってるけどこれらもコーラは

しっかり分かってマレーシアなんかでは売ってる。

こんな感じで「消費者独占型企业」ってのは

消費者向けの製品であるから、

だから私たちが消費者として「目に見える」ってのが

すごい素晴らしい。 B TO Bの企業だとそうはいかないですよ？

それで世界中どこの飲食店でもコーラがないと

成り立ちませんし、

コンビニのレジには絶対にマルボロがないといけないし、

DVD なんかだと必ずディズニーブランドは子供たちが

必要としているし、

こうやって見ると、近くのスーパーに行くだけで

結構見つかるものですね。

ちなみに私なんかはよくアジアの国々行ってますが

そこでは「普通の生活」してるわけですが

実はこうやって日常生活で 買い付けの銘柄を

探し出してます。足で。

んで、こうやっていくと「これは絶対この国では  
ないといけない製品、食べ物、サービスだな」

みたいのが必ずあるわけですが、

そこで IPHONE 出しまして、ROE 調べてみると・・・

そう、実はそんな製品は大体消費者独占型企業のものなんで

ROE が 20%とか30%超えていたりします。

15%超えの基準を満たしてるわけですね。

だから実は「消費者独占型企業の製品」を見つけるっていうところから

企業銘柄を絞り込む方法は、すごい使えます。

だから本当は難しいチャート分析とかは必要ないっっちゃ必要ない

んですね。

バフェットは実際にテクニカルチャートはほとんど見ない

なんてのも言われてる。

それで一方、製品に対してサービスは？

ちょっと製品よりは見つけるのが難しいけど、

これも 「広告だったり宣伝媒体やテレビ」

なんかにヒントがあったりします。

これらを見ていると大体消費者独占型企业ってのは

絞られてきますよね。

それである程度「この商品はある種のブランドだな」

っていうものが出てくるけど

そうしたら それを売る企業業績とか経営者の質を見る

定量的な分析を加えていくってことです。

これは前号までで書いてる通りです。

それでそんな中でやはりチェックしたいのが

**2 EPS（1株あたり利益）が「力強く増加基調にあるかどうか」**

でして、

仮にその会社の製品とかサービスが一定のブランドを

その国の市場で築いていたとしても、

その会社全体の経営状態が官僚的であったりした場合ですね、

少しまずかった場合、

EPS（1株あたり利益）は不安定になっているものです。

だから「優れたブランドを持つてる企業」を見つけて、

「EPSが増加基調かどうか」を見ると

その会社の経営が いけてるか、いけてないか？

が分かります。

例えば EPSが

マイナス1.5ドル

プラス0.6ドル

マイナス0.2ドル

プラス0.2ドル

プラス1ドル

みたいな「ぶれ」が目立つ企業よりは

当然、

プラス1ドル

プラス1.5ドル

プラス2ドル

プラス1.2ドル

プラス1.7ドル



**プラス2.5ドル**

**みたいなEPSを持つてる企業がよいわけですね。**

**日本の証券会社だとあまり見ないかもしれませんが**

**海外の証券だと「EPS増加率」ってのは**

**結構ファンダメンタルの部分で出てるんだけど**

**この辺は「企業名 EPS Chart」とかで検索すると**

**出てくるものです。**

**コカコーラのEPSはこんな感じ。**

**以下のサイトに**

**Coca-Cola Annual EPS**

つてのがああるけど すごい安定してますね。

ちなみに Annual は「年間の」って意味。

(Coca-Cola Quarterly EPS つてのはちなみに

4 半期ごとの EPS ですな。)

コカコーラの EPS。

<https://www.macrotrends.net/stocks/charts/KO/coca-cola/eps-earnings-per-share-diluted>

それでここで EPS の部分でこの EPS の部分が

結構マイナスが目立ったり不安定だったりした場合は

その企業は「コモディティ企業」に当てはまるかも

しれないです。

いずれにしろバフェットはそういう EPS が不安定な企業を

投資対象に選ばないんですね。

それでコカコーラなんかの方が分かりやすいですが

やはり同社なんかは EPS が安定して推移しましたが

これはコカコーラーがブランド製品を持ちながらも

それを有効に活用して、

賢明に活用して大きな利益を上げてきたってことを

意味します。

それでこれらの企業が見つかったら

あとはリスト化して

「いつ買うか」だけなんだけど、

それはバフェットがワシントンポストやコカコーラを

買ったときみたいに

株式市場が全体的に相場全体が落ち込んだときに

それで それに引きずられて相当割安になっているときか、

もしくはバフェットが GEICO やアメリカンエキスプレスを

買ったときのように

その企業の業績が一時的に悪化して、

株価が売り込まれたとき、

を狙うわけですね。

それで、後者の「企業業績が一時的悪化した場合」

は少し注意が必要で、

それはその企業の属する業界全体が落ち込んでるとき

かもしれません。

それでバフェットが投資したいのは

素晴らしい消費者独占型企業が一時的に業績悪化して

そんで市場が過剰反応して売り浴びせたとき

なんだけど、

そういう場合は？というと

具体的に

A社とB社があったとして

A社はEPSが

1990年 1ドル

1991年 1.2ドル

1992年 1.4ドル

1994年 1.5ドル

1995年 1.6ドル

1996年 1.9ドル

1997年 2ドル

1998年 2.4ドル

1999年 2.39ドル

となっていたとして

2000年に マイナス1.22ドル

となっていたとします。

またB社は同じく

1990年 1ドル

1991年 1.2ドル

1992年 1.4ドル

1994年 1.5ドル

1995年 1.6ドル

1996年 1.9ドル

1997年 2ドル

1998年 2.4ドル

1999年 2.39ドル

となっていたとして

2000年に 大幅減益があつて

0.5ドルだったとします。

この2社の場合、より深刻なのは？

そう前者のA社ですね。

急にマイナスになったわけですから

何か大きな原因があつてそれが下降トレンドの



兆しかもしれません。

その赤字に陥った原因をこの場合は明らかにしないと

いけませんし、それが解決可能なのかを考える必要がある。

一方、後者の B 社は？というと

一応かなりの減益ではあるものの、やはりプラスです。

この場合はバフェットは前者の A 社ほど悲観的にならないでよい

という考え方をしますね。

実際に A 社の場合は急にマイナスになったから

何かしらの要因が重なって長引くことがあります

B 社の場合は一時的な減益があったものの、  
再び力強い上昇基調に戻っていくことが多いわけです。

なので必然的に買うときってのは  
その株価がショートで暴落させられてるときですが

そこでその EPS が A 社みたいなものか、

B 社みたいなものか、

は見極める必要があるわけですね。

その際にこのコカコーラの EPS の表だと  
4 半期の EPS (Coca-Cola Quarterly EPS) なんかも  
見たりするわけですね。

<https://www.macrotrends.net/stocks/charts/KO/coca-cola/eps-earnings-per-share-diluted>

あとは、

### 3 「多額負債を抱えていないか」

ですけど、

これも大事でして、バフェットは保守的な財政政策を採る会社が

好きです。

そしてこれが大事ですが、その企業が消費者独占力を

発揮している経営をしていれば

キャッシュフローは潤沢であるわけで

**長期負債なんかは調達する必要がないはずなんです。**

**それで、そこで多額の負債を抱えていないかを見るのは**

**大事でして、**

**バフェットの場合、またコーラの例になりますが、**

**例えばコカコーラの長期負債残高ってのは**

**同社の1年分の利益よりも少ないのですね。**

**だから借金を返すには1年分の利益で十分となるわけです。**

**それとは対照的なのが**

**コモディティ型企業を代表する GM の**

**長期負債残高ですが、**

**これは550億ドルにも達していたわけですね。**

**一方、これはGMが1990年から99年までの10年間の**

**利益の340億ドルを上回るものでして、**

**もう多額の負債と言えるでしょう。**

**GMが仮に10年間全部を負債の借金返済に振り向けても**

**まだ足りない水準です。**

**実はコモディティ企業の特徴がこれにして**

**「多額の負債がある」ですね。**

**ちなみにちょっと話がずれるけど日本のサラリーマンたちは**

気をつけないといけなくて、

よく不動産投資なんかで「資産は20億円！」とかいって

不動産投資家が雑誌に出てる。

が、彼らの場合裏で 多額の借り入れをしているわけであって

それを含まないで「資産」とか言ってるケースが結構ある

んですよ。

例えば不動産の資産が20億円だとしても

これ借金が19億8000万円ならその人の

本当の資産はどれくらいだろうって話になりますが、

いずれこの類の問題が議論される時期が日本でも来るだろうな

なんて私は考えてます。

ただ株式市場の場合は有利子負債とかは

分かりますから

そこを見るのは大事だってことですね。

それで通常、消費者独占型企業は

多額の預貯金を保有してまして、

借金はほとんどない、んです。

言い換えれば事業自体にどんな不測の事態があっても

最終的にはその潤沢なキャッシュでなんとかなる

わけですね。

一方、多額の借金を抱えて余裕資金がない企業の場合

不測の事態、例えば 不景気だったり不祥事だったりの

問題が出た場合対応が利かないわけですね。

自分で解決ができなかつたりする。

だから株価が下落して、最終的には株が紙くずになってしまったり

する。

この辺が分かると結構日本の株の 悪い意味の面白さも

分かりますが、

多額の負債がある会社の株価がやたら上がって

まさに大衆が「有名だから」ということで買っていく



わけですが

やっぱりしっかり調整されるんですね。

どの会社とは言いませんが、以前も 注目 IPO とか

言われていた会社が、どう見ても負債超過なのに

買われていて株価はうなぎのぼりだったけど

その後大暴落した。

ちなみに私の友人のネット起業家であまり

この辺の見方を知らない人がその株を買って大損した

なんて話も聞いた。

知らないこと = 数千万円、数億の損失をこうむる

わけです。

なので「多額の負債がないか」はチェック項目ですね。

それでその「多額かどうか」ってのは

その企業が大体何年分くらいの営業で

その負債を返済できるかっのを見る必要があります。

ちなみに例外として M&A などの買収っのがあります、

この際には 優良な消費者独占型企业も

負債をすることがあります。

そんでこんなときには判断が難しいかもしれませんが

その際にも「買収先企業は消費者独占型企业かどうか」

だけを見るんです。

それで 3つのケースがありまして

**1 消費者独占型企業が 消費者独占型企業を買収するケース。**

これは大変良いケースです。

最強タッグです。

この場合には多額の負債も簡単に返済できる可能性が高い。

これらの組み合わせ企業が一時的に悪材料で売り込まれてるときは

買い、ですね。

いずれ消費者独占力が功を奏して、状況は好転していく可能性が  
高いです。

それで

## 2 消費者独占型企業がコモディティ企業を買収のケース

ですが、

これは失敗 M&A でした、

ぱっとしない結果に終わることが多くて

前者の生み出す利益を食いつぶしていく形になりまして、

買収の際の借り入れ負債の返済が結構長引く可能性が

ありますね。

こういった場合は、その買収されたコモディティ企業が

消費者独占型の事業に転換するかどうかを見たり、

結構長い観察が必要になりまして

バフェットはこういう場合は 見極めがつくまで

辛抱強く「待つ」わけです。

それで最悪が

**3 コモディティ型企業がコモディティ型企業を買収**

するケースで

これが実は M&A の企業買収で一番多いケースだけど

近づかないほうが良くて、大体失敗します。

これらの株が売られてるのはまさに適切に売られてると

言われるわけですし、

その株は泣かず飛ばずとなるから、

やめたほうがよさそうですね。

**バフェットはこの場合無視します。**

ということでここで大事なものは

**「保守的な財政政策を採る企業をターゲットにしないといけない」**

わけです。

これはあなたが仮に自営業者で事業やっても

そうでした、

相手の会社が やたら放漫経営なら

一緒に事業をやってはいけないわけですね。

保守的な財政経営をしてるかどうか、ってのは大事ですね。

ちなみにバフェットの場合資産が10兆円以上あるのに

食事はマクドナルドとかですが

この「保守的な財政経営をしてるかどうか」ってのは

バフェットの私生活にも出ていますが

やはりこれが大事です。

その経営者や会社が質素儉約を馬鹿にしてるような

状態である場合危険信号です。

その際には業界の状態が不況なりに切り替わった瞬間から

それらの会社は赤字になっていく可能性を秘めていまして

やはり儲かっている時にこそ財政を引き締めるようなところ

これは大事ですよ。

逆にコモディティ型企業の場合は

儲ければ儲かるほど 「好景気がずっと続くという謎前提」で

設備投資を拡大させまくるんだけど

これは長期保有には適していないわけです。



それで大体長期負債残高ってのが

3年分の利益より小さい企業、

この辺が基準になりますよね。

こうなると結構絞り込まれてきますが

そういった企業が見つければ長期で安定した

キャッシュを生み出して EPS も上がっていく可能性が高い、と。

と言うことでこの辺を見極めていくと

基本的に その絞り込まれた企業の ROE（株主資本利益率）なんかは

高い状態がキープされていくものですし、

(平均 ROE が 15%以上になる。一方コモディティ型企業は  
日本に多いけど平均 ROE が 1ケタ台・・・っていうなかなか  
きつい ROE になります。)

上記のような内容を企業分析に入れていくと

長期保有に適した企業が見つかっていくってことですね～～

ということでまたこの ROE のことなんかについても書きたいのですが

長くなりますんで

また今度書きたいと思います。

ということでこれらの知識があると

優良企業を絞り込むことができますから、

それは自然とあなたの長期の富につながる

ってことですね。

まあ何とも投資というのは奥深く、面白いものだ、

と思います。

それでは！

ゆう

追伸・・・それで上の内容を見て分かることだけど

バフェットを学ぶと「経営」も学べるわけですね。

すなわちどんな経営状態ってのが

その企業の価値を長期で拡大させていくか？

ってのが分かってくるわけですよ。

だから企業経営者こそ、バフェットを学んだほうが良い

と言えますよね。

多くの企業ってのは何も意識しないと

必然的に「コモディティ型企業の特徴を帯びてくる」

ものであって、

それを修正して「消費者独占型企业」に近づくように

企業の形を変えていくことが大事なわけです。

だからこれを学ぶと分かると思いますが、

最近、「サラリーマンでも M&A をして社長になろう」

とか流行しだしてますが、

上記のような知識ないと大企業サラリーマンなんかが

M&A で社長になったら大体ヤバイって分かりますよね。

M&A をする場合、その企業を長期存続させたいならば

必然的に消費者独占型企业への舵取りしないといけない

わけですし、

それはやはり投資や経営技術の知識が必要になるわけです。

一方、バフェットを学べば

「どういう企業（個人）が利益を上げ続けて、

どういう企業（個人）が資本主義で行き詰まるか」

が大体全部分かっちゃうんで

そういう意味で 投資だけではなくてビジネスでも

活用できる話なんですね。

だから「バフェットを学ぶ=資本主義のルールを学ぶ」

とイコールなんで

なかなか面白いですね～

それでは！



【資産10兆バフェットは大衆投資家が  
暴落で焦ってるところで買う】（億万長者バフェット学）

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/8042063/buffet1/>

【億万長者のバフェットが避けたがる  
「コモディティ型企業」について知る！】（億万長者バフェット学）

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/8042063/buffet2/>

【投資したら損する「コモディティ企業」を  
バフェットが見分ける「7つの基準」とは?】（億万長者バフェット学）

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/8042063/buffet3/>

PDF【バフェットが愛する「消費者独占型の企業」とは何か?】  
（億万長者バフェット学）

[http://fxgod.net/pdf/buffet\\_theory4.pdf](http://fxgod.net/pdf/buffet_theory4.pdf)





